

かみ

議会だより

令和4年

6月定例会

第70号



宝樹保育園



むらおかこがし園

私たちが
つなぐもの

村岡中学校 2年生 トライやるウィーク

—CONTENTS—

- 報告・専決・補正 2~3
- 条例・損害・契約・人事 4~5
- 請願・意見書 6
- 町政を問う（13人が一般質問） 7~13
- [特集] 議決、その後 14
- 審議結果・我が家の宝 15
- この人ここにあり 16



香美町議会の情報が閲覧できます

6月定例議会にて、専決処分された損害賠償事件2件及び契約変更1件と令和3年度兵庫県町土地開発公社の業務報告、令和3年度一般会計繰越明許費をはじめ水道・下水道企業会計予算繰越報告を受けました。また、専決処分された令和3年度香美町一般会計補正予算を承認し、3件の条例改正を可決しました。

報告

■**事故による損害賠償事件**
作業車による作業中に誤って民間施設に損害を与えたもの。

■**落雪による損害賠償事件**
公共施設屋根からの落雪により民間車両に損害を与えたもの。

※この2事件の責任割合は町が100%とし、賠償額全額が賠償責任保険で補てんされました。

■**八原井堰災害復旧工事の請負変更契約締結**

護床ブロックの減少等による約0.3%、15万8400円の減額変更するもの。

■**兵庫県町土地開発公社の業務報告**

報告によれば、令和3年度中に設立団体からの委託による新たな土地取得はなく、すべての土地の処分は令和元年度中に完了している。財務状況は事業収益がなく経費削減努力しているが、当期純利益は約マイナス10万5000円となった。

問 新たな事業もなく、公社の将来として解散の話はないのか。

答 会議の中で解散等の話も出ていますが、現時点での具体的な動きはありません。

■**令和3年度香美町一般会計繰越明許費**

町民生活支援燃料券配

布事業費、災害対策費、3年現年農業用施設災害復旧費など計54事業、総額約7億2400万円の繰越明許報告がありました。

■**令和3年度香美町水道事業企業会計予算における建設改良費の繰越報告**

国道9号線高井交差点横断管布設替工事に於いて道路管理者との協議及び調整に不測の日数を要したもので、事業完了予定を令和4年8月としたもの。

■**令和3年度香美町下水道事業企業会計予算における建設改良費の繰越報告**

長井処理区の関連3工事に於いて、地元の調整

に不測の日数を要したことや、関連他工事の工期延期による影響を受けて、工期の延期が必要となったものなど総額約8300万円を繰り越すもの。

■**令和3年度香美町下水道事業企業会計予算における事故繰越額の報告**

香住浄化センター脱水機操作盤修繕工事に於いて、半導体不足により製品の製作に不測の日数を要したもので、561万円の事故繰越となったもの。また事業完了予定を令和4年8月とした。

専決

※専決処分したものの報告と承認を求めるもの。

■**令和3年度香美町一般会計補正予算(第15号)**

本補正予算の主な内容は、歳入においては各種

交付金の決定による補正と特別交付調基金からの繰り入れを予定していた除雪関連経費を削減し、臨時道路除雪事業費補助金に振り替えるもの、歳出に関しては特別交付税の財政調整基金への積み立て、個人番号カード交付事業費負担金の増額、森林環境経営管理事業費の減額補正、道路維持費の一般財源から国庫支出金への財源内訳の補正など。

問 歳入の地方交付税に於いて約3億強の特別交付税の増額理由と総計主義の原則から年度内予算として有効活用すべきものと考えますが、なぜ基金に積み立てるのか。

答 理由については県から具体的説明がないのでわかりません。また基金への積み立てについては、特別交付税の性格上予算編成に於いて確たる金額を見積もれないために、暫定予算を組んで財源不

足という状況に陥らないために基金へ積み立てようとするものです。

問 交通安全対策特別交付金を基金に積み立てずに一般財源で賄うべき事業に充てることは基金の主旨に反するのではないか。

答 交通安全対策基金を創設している以上、これまで一般財源で賄っていた交通安全対策事業に交付金を充てることに問題はないと考えています。

■**反対討論** 谷口 眞治 議員

3億円もの特別交付税を議会の承認を経ず、専決処分で当該年度で使うことなく基金へ積み立てることは、コロナ禍等を鑑みても到底容認できない。

補正 予算

町民の暮らしに直結!!

一般会計 補正予算(第2号)他2件

全員賛成
で可決!

燃油・物価の高騰に対応し、町民の生活・事業者支援の為、有効な補正予算を全員賛成で可決しました。

■一般会計補正予算(第2号) 2億6317万6千円を追加しました。

新型コロナウイルス感染症防止対策の取り組み

ワクチンの追加接種(4回目)にかかる経費など。

町民生活への支援

燃油高騰、物価上昇の影響に対応するための町民生活支援ガソリン券・子育て世帯への支援として給食費減免事業費など。

事業者への支援

国の事業復活支援金を支給されないみなし法人を支援するため香美町事業復活支援金や、宿泊事業者への支援として京丹

後市と相互に行う山陰海岸ジオパーク圏相互交流キャンペーンなど。

教育の充実

新型コロナウイルスの影響により、修学旅行に係る経費の内、従前より割高になる部分を補填する。

公共施設等整備の取り組み

神水公衆トイレ及び小代区地域連携センター内トイレの洋式化を行う。

補正予算の内容について、徳田・藤井・小谷・東垣・南垣・谷口・西川・見塚8名の議員が疑問点を問いました。

問 町民生活支援ガソリン券について車を持たない世帯への対応は？券の額面・有効期限は？

答 町民生活支援券に取り替えいたします。額面

は1000円券を10枚で有効期限は11月30日迄です。

問 修学旅行費補助金の補助金はどこに支払われるのか？

答 町から学校へ補助金を支出し、家庭からの集金分と併せて旅行者へ支払いをします。

問 商品券の60%が大手スーパーで使われたが、雇用の創出に役立つているのか？

答 以前は利用できなかったが、香美町商工会員でもあり、町民の雇用もあるので利用可能としています。

問 交通安全対策費、カーブミラー等の修繕と聞いたが、一般会計からではなく、基金を活用すべきでは？

答 当初予算にはなかった臨時的な支出なので、取り急ぎ一般財源での支出をします。

賛成討論 南垣 誠議員

新型コロナウイルス感染症対策として町民生活の支援が必要となっております。事業者への支援、教育環境の支援など、今町民に対する支援が必要となっております。

町民支援ガソリン券・町民生活支援券配布事業は、コロナ禍からの経済再開、燃油高騰対策として町民の負担軽減を図ることができません。

また、給食費減免事業においては、子育てをする全ての家庭について、平等に経済的な負担軽減を図ることが出来る大変良い政策で本議案は、今時点で考え得る政策を網羅しており、町民・町内事業者への支援として有効であると考えます。

■国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

1017千円を追加

■介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

2760千円の減額



町民の声

うちには小学生と、こども園に二人の子どもがいます。金銭的な負担軽減はもちろん嬉しいですが、町として子育てを支援してくれることへの喜びが大きいです。

【議案第58号】

香美町税条例等の一部を 改正する条例を定めることについて

可決

条例
改正

POINT

①個人町民税

1. 住宅借入金等特別控除の見直しに係る措置
2. 上場株式等の配当所得等に係る課税方式の変更
3. 合計所得金額に係る規定の整備

POINT

②固定資産税

1. 土地に係る負担調整措置
2. 耐震改修・省エネ回収住宅等の固定資産税の減税措置
3. 登記所からの通知事項の拡大等
4. 「わがまち特例」の特例割合を変更

可決

【議案第59号】

香美町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

POINT

法改正に伴う文言変更

可決

【議案第60号】

香美町国民健康保険税条例の一部を改正する条例を定めることについて

POINT

1. 課税限度額の見直し
2. 国民健康保険税の税率の改正
3. 低所得者世帯等に対する国民健康保険税の軽減額の改正

損害
賠償

■損害賠償の額を定めることについて

問 最終処分場にて作業用重機で相手車両をけん引した事が原因で破損し損害が発生した。

答 車両には保険に入っていないが、説明があつた。なぜ入っていないのか。また、他の車両でもあるのかその対応は。北但広域から借りている重機で、場内の整備

のみ行っている車両でありナンバーが無く、車検がない車両なので保険は加入していませんでした。北但広域には保険加入をお願いしています。他、公用車両には自動車共済保険に全て加入しています。

問 再発防止策や今後の指針は。

答 現場、現場で応じた公用車の使用を職員に徹底してまいります。



最終処分場

契約

契約案件6件、いずれも全員賛成で可決しました。

■小代中学校校舎大規模改修工事

老朽化が著しいため施設の長寿命化を図る

1億6541万8千円

(株)アイテック西岡

(制限付一般競争入札)



改修予定の小代中学校

質疑

問 香住第二中学校のエアコンを移設することだが、新設とのコストの差は。

答 一教室当たり約100万円の減です。

■除雪用機械(ドーザ)の購入

平成12年に購入した村岡地域局に配備の車両を更新

1787万5千円

コマツカスターマーサポ

ート(株)近畿四国カンパ

ニー兵庫北営業所

(指名競争入札)



現行のドーザ

質疑

問 納期が令和5年2月28日とあるが、理由と早い納車依頼はするののか。

答 受注生産のためです。が依頼はします。

■除雪用機械(ホイロローダ)の購入

平成21年に購入した小代地域局に配備の車両を更新

544万5千円

但馬重機(株)

(指名競争入札)



現行のホイロローダ

■し尿収集車の購入

平成23年に購入した車両を更新

842万5780円

(株)ナカイ自動車センタ

1

(指名競争入札)



現行の収集車

質疑

問 入札辞退と欠席とは。又、ペナルティはあるか。

答 事前に入札参加の申し込みがあったなかで、辞退は、入札前に辞退の連絡があったもの、欠席は連絡なしに入札に参加されなかったものです。

ペナルティはありませんが、続くならば入札審査会で協議します。

人事案件

人権擁護委員

任期満了に伴い、引き続き法務大臣に推薦することに同意しました。

●任期は10月1日から3年間です。



小代区野間谷
よしだ さちこ
吉田 幸子さん

■堆肥運搬車両の購入

平成11年に購入した村岡有機センターに配置の車両を更新

657万6271円

(株)ジェイアクロス

オートバルむらおか

(指名競争入札)



現行の堆肥運搬車

■学校給食センター給食運搬車の購入

平成12年に購入した香住学校給食センターに配置の車両を更新

710万9860円

(株)清水自動車

(指名競争入札)



現行の給食運搬車

請 願

第2号

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1の復元を
はかるための、2023年度政府予算に係る意見書採決の
請願について

全員賛成で採決

請願者 美方郡教職員組合
執行委員長 田中 慎一
紹介議員 東垣 典雄

次の意見書も賛成多数で
可決し国に提出しました



香住第一中学校

意見書

教職員定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1の復元に
係る意見書

1. 中学校・高等学校での35人学級を早急に実施すること。また、さらなる少人数学級について検討すること。
2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
3. 自治体で、国の学級編制標準より引き下げた「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう、加配の削減は行わないこと。
4. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元すること。

町政を問う

6月定例会での一般質問は、6月16日と17日に13人の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。

一般質問の記事は、質問した議員の責任において作成したものです。

※ QRコードでそれぞれのようにすが視聴できます



学校にも変化・新しい活力を!!



森の下草を採食するシカ

地方と都市を結ぶ新しい学校の形「デュアルスクール制度」を取り入れ、



見塚 修 議員

デュアルスクール制度の取組を!! 学校再編と並行の取組は困難です

都市部との交流人口の拡大・移住定住のきっかけづくり・体験留学、交換留学など新しい香美町版チャレンジプラン教育に取組む考えはないか。新しい、変わった制度には全国に先駆け、その効果を求めているの早急な取組を求める。

町長 文部科学省も平成29年に地方移住等に伴う区域外就学制度の活用として、全国の教育委員会に通知しています。双方の学校間で学習・生活の情報交換の密が必要で、教職員の負担増や専属職員の配置が心配です。

市町独自でなく、県単位で導入すべきものと考え、本町は最優先課題の学校再編と並行して検討することは、困難と考えています。
教育長 交流・関係人口の増、地域の活性化、移住促進が期待できますが、新しいチャレンジプランは考えていません。



東垣 典雄 議員

森はピンチ、シカによる採食被害 個体数の減少被害防止を行ないます

農作物や森林の下草を採食するシカ、同じ害獣のイノシシは自然環境の生態系を変えませんが、シカは森林の下草を食べつくし木の皮を剥ぎ食べて森林を荒廃させ自然の生態系を変えます。

森林の採食被害は深刻、生息密度を下げる必要が後で捕獲頭数の推移を注視します。
町長 被害状況は農林業ともに減少しておりますがさらにシカの個体数を減少させることが喫緊の課題であると認識しています。
「ストックポイント」

但馬の市町の連携と活動は本年度、香住区御崎、相谷地区の捕獲活動を予定、森林組合においても捕獲活動を行なうことなど個体数の減少、被害の拡大防止を行ないます。





梨の生産に関する資料が町の文化財である香住梨



サポート付き軽トラの普及を

サポートカーの購入補助を 創設するつもりはございません



南垣 誠 議員

自動車免許です。公共交通機関の十分でないこの地域では、通院や日常生活上、車を手放せないケースがあり、免許証返納に代わる有効な選択肢ではないかと思う。

買い換えができなければ、せつかくの免許制度が意味をなさない。
また、若者であっても安全なサポートカーに乗ろうという決意をされた方に、対象車両購入に対する補助金を創設しては、
町長 香美町で独自にサポートカー補助制度を創設することは考えていません。



教育行政と連携し、担いのきつかけづくりを 発展的に取組みます



吉川 康治 議員

生涯学習課だけでなく農林水産課や観光商工課との連携も重要になってくる。例えば香住梨であ

れば、地域おこし協力隊の人と、子どもたちが主体的に企画した、子どもたちのための梨コンテストなどがあってもいいと思う。子どもたちは純粋においしい、おいしいと言います。
そういった経験を通し、香住梨に限らずほかの産業でもこのような取組は

やってみてもいいのではと思うが、町長のお考えは。
町長 できるだけ多くの皆さんにぎやかに参加していただくため、吉本興業の芸人さんにも農林水産省の絡みで参加をしていただき、子どもたちにも喜んでいただけるような計画をしています。



ご提言の教育委員会です。やっている様々な体験は、官民間問わず今までからその地域の産業に関わっていただく子どもたちや若い世代の方々に対して、ある程度させていただいております。民間事業者にもしっかりと取り組んでいただいています。
議員から提案頂いたことも含めて今後も発展的に役場としても頑張っていきたいと思えます。



みんなの期待を乗せて!!

気軽に乗れるデマンドバス路線を 再実証運行で検討する予定です



藤井 昌彦 議員

高齢化が進み、自動車免許証返納により、高齢者や障害をもつ人の移動手段が問題。

買い物、行政手続き、金融機関、病院通い等、生活に必要な事ができにくくなっている。

香美町民バス小代線デマンド化は、区民にとっても大変、関心の深いところである。

①デマンド化の試験運行の結果は
②評価は



③今後の展開は

町長 デマンド実証運行は、小代区民にとって高い利便性、効率的な交通体系を目指し行いました。

①試験日数は15日間、実利用者は11人、延べ利用件数は41件で小学生の通学20、中学生通学1、一般利用20件、う

ち16件が小代診療所への利用でした。

②限定した利用であり、通学を除くと、1日3人程度で年間900万円の経費を必要としており、効率的な運行を検討します。③昨年とは条件を変更した再実証運行で小代区にとって最適な交通モードを検討する予定です。

第3次男女共同参画行動計画は 誰もがいきいきと輝ける町を目指して



社会的及び文化的利益を享受することができ、共に責任を担うべき社会。

新たな計画を策定するためパブリックコメントを募集したが、結果はゼロとの報告。計画策定で変わった点、特に力を入れる点、本町ならではの点について伺います。

町長 平成19年3月に第1次計画、平成28年3月に第2次計画を策定し、男女共同参画社会の

形成に向けた取組を進めてきました。

第3次計画では、「誰もがいきいきと輝ける町を目指して」を基本理念として、誰もが共に参画する人づくり、誰もが働きやすい職場づくり、誰もが支え合う家庭と地域づくり、誰もが安心して暮らせるまちづくりの4つの重点目標を掲げ、取組を推進することとしています。

男女がともに活躍できる社会へ



内閣府 男女共同 参画局

内閣府男女共同参画局シンボルマーク



小谷 康仁 議員

男女共同参画社会とは男女が社会の対等な構成員として自らの意思によって、社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され男女が均等に政治的、経済的、



情報発信ツールを効果的に利用してみては

一般質問等でよく聞かれる「その情報はどのようにして町民に発信していますか」と言う一文。



松岡 大悟 議員

町民への情報発信の方法を問う 現行以外の発信ツールは慎重に選定する

それに対して町長は「広報ふるさと香美」「香美町ホームページ」「防災無線放送」この3つの方法で情報発信していると答弁される。

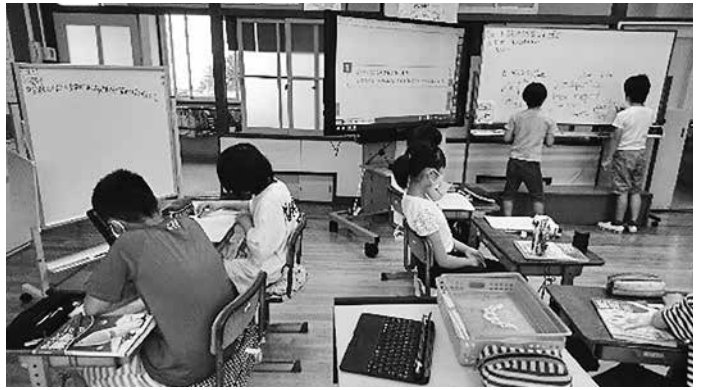
今後、さらに多世代の町民にその情報を届けるために、情報発信の方法を拡充する考えがあるのかを伺う。

町長 現在のところ、観光分野ではインスタグラム、フェイスブック、ツイッター等で、移住定住においてもインスタグラム、フェイスブック、ツイッター、LINEで情報発信を行っています。

しかし、SNSでのやり取りは、情報漏えい



による信頼の損失、プライバシー侵害、誹謗中傷被害等のリスクも同時に考えられるため、町全体の情報発信を行うツール利用はメリット・デメリットや効果を十分に研究する必要があり、拙速に導入するのではなく、慎重に行わなければならないと考えています。



複式学級での授業



上田 勝幸 議員

小中連携の教育を考えるべき 色々な制約があり、難しいです

ども達の学力、先生方の教育力の向上、充実が欠かせないと思う。

子ども達の何事にも、真剣に取組む進取の気性は、すぐく発達しており、一・二年先輩の授業でも吸収できる能力を備えている児童・生徒もいます。

その子達のためにも小中連携の教育を考える時機にきているのでは。

教育長 本町でも、平成26年度以降、挨拶運動

の展開やふるさと教育の実践において、小中学校が連携しての一貫教育の推進を始めました。先生方も合同研修会を通して研鑽を積んだことで意識改革が進むとともに小中一貫化教育を進めようとする機運が醸成されつつあります。

小中連携はもちろん、就学前施設と小学校との連携も深めて行きたいと思えます。





値上げラッシュ!! しっかり対策を!!

物価高騰からくらし・営業を守れ!

今後もしっかり取り組みます



谷口 眞治 議員

物価高騰から町民のくらしと産業・営業をいかに守るか町長に伺う。
①物価高騰の有効策は、消費税5%減税とイ

ンボイス中止ではないか。

②国保税の減額と水道料金上げを中止しないか。

③学校給食費の減免は、子育て支援対策としても有効。次年度も続けるか。

④肥料や飼料、燃料などの高騰が直撃している農業、畜産、漁業の支

援は。

⑤くらしを守る予算の財源は国の臨時交付金も財政調整基金もある。財源総動員の対策をやるべきではないか。

町長 ①国の制度の答弁は差し控えます。

②国保運協の答申どおり減額は考えていません。水道料金改定も同様です。



③国の臨時交付金の取り扱いで給食費等の負担軽減が示されたので実施します。町単は難しいです。

④化学肥料や飼料の価格支援の検討をしています。燃油対策は将来に向けた基盤づくりの支援を検討します。

⑤臨時交付金の残額は、今後の施策に活用します。財政調整基金も補正予算の規模に応じて活用します。



野菜の収穫が最盛期



森浦 繁 議員

農家の担い手と農地の減少など、生産基盤が弱体化する中、米からの転作を支援する水田活用の直接支援助交付金の削減中

農家へスピード感のある支援を 多様な担い手への支援拡充を検討します



止、肥料価格の高騰、配合飼料高騰、燃油価格高騰、資材高騰など、農家は四苦八苦しています。大規模農家、小規模農家の区別なく、公平な今後の支援について問います
町長 現行制度の中で継続して支援をしながら農業者が求める支援のニーズの把握に努めスクリップ・アンド・ビルドを基本として、新たな支援策を講じたいと考えています。なお、国において、人・農地制度の見直しが行われる中、認定農業者以外にも、定年帰業者や半農半X、集落営農組織など多様な担い手への支援拡充を検討します。



最後の懇談会が開かれた射添小学校



ヤングケアラーって？

再編問題の懇談会を、小代小・香住小を除き、昨年8月から本年5月に



岸本 正人 議員

学校再編問題のその後の進捗は 組合せと時期の案をまとめ中です

かけて計8校開催された。どんな感想を持ったのか。また、計画、構想は進んでいるのか。この夏休み中の公表予定であったが進捗状況を問う。令和9年度までの推計では、再編なしでは、0人の学年が3校、1人の学年が8校となる。7年間・8

年間（幼稚園は1・2年制あり）ずっと、1人の学年は、私に言わせればそれは悲劇だ。
教育長 8校の懇談会では、若干の地域差はありましたが、できるだけ早く再編を望む意見が多かったと感じています。少数ながら存続を望む方



や、しばらくは維持を望む方もいました。幼稚園児・児童数の推移。アンケート結果・懇談会意見などを総合的に勘案し、現在組合せと、再編の目標時期の素案をまとめています。教育委員・校長会・町長判断を仰いで、この夏に発表する予定です。



西谷 高弘 議員

本町にヤングケアラーの対象者は 調査では対象家族はありません

ヤングケアラーは、18歳未満の子どもで例として障害や病気のある家族の代わりに、買い物や料理など家事や幼い兄弟の世話家族の入浴やトイレの介護を行うケースが代

表としている。本来大人が担うべきことに向き合う子どもへの支援の必要性が指摘されている。本町として①ヤングケアラーの調査は。②早期発見や把握の確認は。③福祉・介護・教育など関係機関の連携や研修会は。④スクールソーシャルワーカーの設置は。
町長 県より実態調査の依頼があり、調査は個別訪問など直接聞き

取りでなく、アンケートにより、民生委員・児童委員・地域包括支援センター、介護支援専門委員、障害者相談支援専門員、要保護児童対策地域協議会などで調査し結果、ヤングケアラーに相当する家族はありませんでした。地域でも大人がアンテナを張りSOSに気づくような配慮が重要であり、学校、地域、町地域包括支援センター、町基



幹相談支援センターや県などと連携を図り、学校では教職員への研修を行います。
教育長 スクールソーシャルワーカーは平成30年度から1名配置しており各中学校に週1回勤務で活動しています。



一般質問
その他こんな質問もしました

質問議員	質問項目
東垣 典雄	○若者人材等の還流及び育成・定着支援の施策「地域おこし協力隊」について問う
見塚 修	コロナ禍を克服し、活力あるまちづくりを求めて (Part5) ○危機管理編 危機管理体制の状況と確立について問う ○教育編 青少年健全育成について問う
南垣 誠	まちの将来像「こどもたちに夢と未来をつなぐまち」について問う (Part4) 「香美町は楽しいと思えるまちづくり」 ○小中学校での授業料以外の費用負担について問う (Part5) 「春は経済的に厳しい・通学に係る地域格差の是正を」 ○公用車の安全とグリーン化税制、脱炭素に向けた取り組みについて
吉川 康治	○みんなでつくる災害に強いまちについて問う ○みんなで支えあい幸せに暮らせるまちについて問う
藤井 昌彦	○ふるさと教育について ○香美町町道等の管理について
小谷 康仁	○夏休み短縮について問う
谷口 眞治	○公共交通対策について問う
森浦 繁	○ふるさと給食について問う ○子育て支援について問う
西谷 高弘	○安全安心なまちづくり ○地方創生臨時交付金について問う
岸本 正人	○地域おこし協力隊の活動について ○有償ボランティア交通について
田野 公大	○香美町の文化振興

※松岡大悟議員の一般質問について
質問の中で、一部問題のある発言があったと議会運営委員会において判断されたため、一覧には掲載されておりません。



リフレッシュタイムをつくろう!



田野 公大 議員

役場に笑顔が増えれば
町民も笑顔になるという
考えのもと、抑圧的な仕

明るく活気ある職場として町民も笑顔に
活気ある職場として町民サービスの向上につなげます



事である職員の癒し対策
を考えているか。
また、職員のやりがい
を育むことや、新しいこ
とへの挑戦の取組や、向
上心などをどうくみ取っ
ているか。

の向上となり、町民サー
ビスの向上につながると
考えています。
そのために縦横のつな
がりを大切に、明るい雰
囲気づくりのため、新任
職員への相談体制、互助
会でのスポーツ大会や懇
親会、当番制で昼休憩時
のリフレッシュ時間の確

保、職員提案制度などに
積極的に取り組みます。
本年度新たに先進自治
体の調査研究を行う若手
職員を対象とした先進自
治体視察研修制度を設
け、職員の意欲、知識の
向上と視野拡大を図り、
活気ある職場とすること
で町民サービスの向上に
つなげていきたいと考え
ています。

特集

議決、その後…

**障害者用
防災スカーフは
今！**

自ら支援を求めることが
難しい人も、周囲に障害
があることを知らせるこ
とができます。

現在の配布数は、

令和2年3月定例会、
町民の方の提案を議会で
紹介、同年12月から配付
された障害者用防災スカ
ーフです。

有事の際に支援を受け
やすくすることを目的と
した防災スカーフで、ス
カーフを着用することで、
外見からは障害のあるこ
とが分かりづらく、また、

- 香住区65枚
- 村岡区8枚
- 小代区4枚
- 町外（町内の事業所利
用者）5枚 合計82枚

周知方法は手帳交付時
に説明・「障害福祉のし
おり」に掲載・訪問時に
説明・相談支援専門員を
通じて、本人や家族に説
明しています。

**ヘルプマーク・
ヘルプカードは
今！**

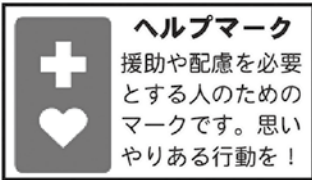
援助や配慮を必要とす
る人のためのマークです。

令和元年12月定例会で町
民の方への周知が必要と
議会で提案、令和2年2
月号から広報「ふるさと
香美」の最終ページに掲
載されています。

平成30年から現在の累
計で、ヘルプマーク81
個・ヘルプカード61枚の
配付をしています。
希望の方は役場福祉課
又は各地域局で受け取れ
ます。



障害者用防災スカーフ



ヘルプマーク

ICT化に向けて 議会におけるデジタル化調査特別委員会・賛成多数で可決

(提案理由)

行政のデジタル化に対応しつつ、議会においてもデジタル化を推進するため、課題調査及び手法の検討等について、議員自ら調査・研究するものである。

- | | | |
|------|----|----|
| 委員長 | 松岡 | 大悟 |
| 副委員長 | 南垣 | 誠 |
| 委員 | 上田 | 勝幸 |
| 委員 | 田野 | 公大 |
| 委員 | 岸本 | 正人 |
| 委員 | 東垣 | 典雄 |
| 委員 | 森浦 | 繁 |



議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ掲載しています。

議案番号	議案名	田野 公大	上田 勝幸	谷口 眞治	藤井 昌彦	吉川 康治	東垣 典雄	西谷 高弘	小谷 康仁	南垣 誠	松岡 大悟	見塚 修	西川 誠一	岸本 正人	徳田 喜代子	森浦 繁	西谷 尚
49	専決処分をしたものにつき承認をもとめることについて（令和3年度香美町一般会計補正予算（第15号））			×												×	—
60	香美町国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めることについて			×												×	—
意見書1	教職員定員数改善と義務教育費国庫負担率2分の1の復元に係る意見書採択の提出について											×					—
発議3	議会におけるデジタル化調査特別委員会の設置について												×				—

空白…賛成、×…反対 ※議長は採決に加わりませんので「-」で表示しています。

6月定例会では次の議案も審議し、いずれも全員賛成で可決しました。

- 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 小代中学校校舎大規模改修工事の請負契約を締結することについて
- 除雪用機械（ドーザ）の購入契約を締結することについて
- 除雪用機械（ホイローダ）の購入契約を締結することについて
- し尿収集車の購入契約を締結することについて
- 堆肥運搬車両の購入契約を締結することについて
- 香住学校給食センター給食運搬車の購入契約を締結することについて
- 損害賠償の額を定めることについて
- 香美町税条例等の一部を改正する条例を定めることについて
- 香美町過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の適用に伴う固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて
- 令和4年度香美町一般会計補正予算（第2号）
- 令和4年度香美町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 令和4年度香美町介護保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1の復元をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について

我が家の宝



香美町香住区
上垣 眞智さん
みくさん
美久さん



あんり 杏鈴ちゃん (6歳)
まお 茉和ちゃん (4歳)
さくら 彩桜ちゃん (2歳)
なおと 直仁くん (9ヶ月)

いつご結婚されましたか？

2015年3月14日です。

香美町に住んでどうですか？

海も山も身近にあり、子どもたちがのびのび育つにはとてもいい環境だと思います。

子どもたちに一言お願いします。

大好きなあんり、まお、さくら、なおと！
みんな元気でたくましく育ってね！

議会に一言お願いします。

より子育てをしやすいまちになるよう願っています。

いのりいんあいら

「しとしと」

shitoshito.com

検索



◆しとしと◆

2018年に香美町出身の山本氏とその友人芝田氏が、香美町を拠点に地域に根付く仕事や人々の生活を取り上げ発信するローカルメディア「しとしと」を立ち上げ、継続して地域でのインタビューや執筆活動をされています。

◆活動内容

香美町を中心に、地域に根付く仕事や暮らしを取り上げ、発信するウェブメディア「しとしと」を運営しています。大学4年生の頃、香住で長年写真館を営んできたご主人のもとへインタビューに行ったことは今でも印象深いです（インタビュー内容はウェブでご覧いただけます）



◆メンバー

○山本 修太郎(代表)

香美町出身25歳。高校生まで香住で過ごし、神戸の大学へ進学しました。今は東京で社会人生活を送りながら、香美町に月一度足を運ぶ生活をしています。大学3年生の頃、身近な場所の後継者不足により仕事が消えゆくことを目の当たりにしたこと、就職活動の前に生じた迷いから「しとしと」をつくりました。「地元にいる大人たちに話を聞いてみよう」「地域で足を動かして勉強してみよう」と始めた活動が、楽しく、今も続いています。

○芝田 昂太郎

宮城県仙台市出身25歳。大学在学中に山本氏の誘いを受け、「しとしと」を一緒に作りました。縁もゆかりもなかった香美町に大学時代は毎月通い続け、これまで20回近く香美町を訪れています。

現在は宮城県でカフェの経営にも取り組んでいきます。



◆今後の活動予定

今年9月、香住文化会館で写真展を実施するため、現在準備中です。香美町在住・出身の20代100人から集めた写真を展示することを通じて、日常を見つめ直す、そんな企画です。

また、町内に5つある駅にも注目しており、駅を「コミュニティを繋げるための場」に変化させる、駅活性化プロジェクトも企画中です。これからは執筆やメディアだけでなく、まちの中にもどっていきながら企画を作ります！

◆香美町議会に一言お願いします

僕たちは、普段まちの外にいますが、配信などを通じて議会のみなさんの真剣な議論を見させていただいています。僕たちは、まちを構成する一人ひとりがどんなことを考えて暮らしているのかに興味があり、これまでインタビューや執筆活動をしてきましたが、議会で描かれるまちの姿と、まちに暮らす一人ひとりの想いが交差するような未来が実現するといったと思います。僕たちは、企画や執筆、編集を切り口に頑張ります。またお話を聞かせてください！

編集後記

香美町では、3年ぶりとなる香住浜を含む4か所の海水浴場が、開設されました。ふるさとまつりも開催されました。世界では、プーチン政権によるウクライナへの侵略戦争が起り病院、学校、ショッピングセンター、駅など、ありとあらゆる建物にミサイルが撃ち込まれ、普通にあつた暮らしが根こそぎ破壊されています。一日も早く、平穏な日常を取り戻せることを願います。

広報公聴常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 吉川 康治 |
| 副委員長 | 南垣 誠 |
| 委員 | 田野 公大 |
| | 西谷 高弘 |
| | 松岡 大悟 |
| | 見塚 修 |
| | 森浦 繁 |